本町の復興を支えた経験を活かし 災害に強いまちづくりを

熊本地震や豪雨で大きな被害を受けた本町では、迅速な復旧復興に向けて、被災後全国の自治体などから多数の復旧復興支援の派遣職員を受け入れている。これまでに数日から数週間程度の短期支援に約800人、数カ月以上の中長期支援では延べ55人に支援いただいており、2月末現在で5人が町建設課職員とともに復興業務に尽力している。

薩摩川内市役所職員の奥薗達也さんは、熊本の震災復興のために何かできることをしたいという思いから派遣を希望。一昨年の4月から道路や河川の災害復旧、宅地の耐震化推進事業などの業務に携わってきた。

「被災者に寄り添い、希望を丁寧に聞き取ることを心掛けながら業務に取り組んできました」と語る奥薗さんは、2年が経とうとしている本町での業務を振り返って「他自治体からの派遣職員の方とも意見交換しながら業務を行う中で、異なる考え方を学べたのは良かったと思います。この2年間にできたつながりを今後も大切にしていきたいですね」と笑顔を見せる。

「町職員の皆さんとランチに出かけたり、職場対抗バレーボール大会に参加したり、ラグビーのワールドカップを観戦したのも良い思い出ですよ」と話すのは、総合運動公園整備などに従事する西健一さん（鹿児島市）。「やな場でアユ料理を味わえていないのが少し心残り。機会があればぜひ訪れたいです」と明かす。

本町の復興を実感する場所として、総合運動公園サッカー場を挙げた川畑雅彦さん（鹿児島市）は「更地だった場所が、緑の天然芝サッカー場になる様子が印象的でした。鹿児島市でも自然災害への備えは必要で、今回学んだことをそれぞれの自治体に持ち帰って、災害に強いまちづくりに活かしていかなければと思います」と鹿児島での活躍を心に誓う。

本田 聖さん Honda Satoshi 〔鹿児島県鹿児島市〕
西 健一さん Nishi Kenichi 〔鹿児島県鹿児島市〕
川畑 雅彦さん Kawabata Masahiko 〔鹿児島県鹿児島市〕
野付 祐司さん Notsuki Yuji 〔鹿児島県出水市〕
奥薗 達也さん Okuzono Tatsuya 〔鹿児島県薩摩川内市〕

震災支援派遣職員の皆さん / 熊本地震の発生に伴い、平成28年度から多数の派遣職員が本町の復興を支援。今年度は鹿児島県の各自治体から５人が、町建設課において３月末の任期まで震災からの復旧復興業務に従事している。

広報 こうさ
2020年（令和２年）３月号
通巻608号

発行・甲佐町　発行人・甲佐町長 奥名克美　編集・地域振興課　住所・〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4　TEL096-234-1154
URL・https://www.town.kosa.kumamoto.jp/ ※本紙は再生紙を使用しています。